

ICTを活用したアクティブ・ラーニングの 取り組みと課題

「双方向性遠隔教育システムを活用したPBL教育」



2016年度教育改革ICT戦略大会 (2016.9.7)

丹羽雅之

医学教育全国共同利用拠点

岐阜医学教育開発研究センター

岐阜大学
医学教育開発研究センター



2001年4月
全国共同利用施設と
して誕生



2010年4月
文部科学省
医学教育共同利用拠点
として認定(5年間)



2015年4月
文部科学省
医学教育共同利用拠点
として再認定

基本理念と使命

- 新しい医学教育の開発研究と普及
- 医学教育に貢献できる人材育成
- 国内外の医学教育機関との連携・共同研究

知

- PBL-Tutorial 教育の進化と普及
- E-Learning system の開発

心

- Medical Communication 教育の進化と普及
- Professionalism 教育の開発

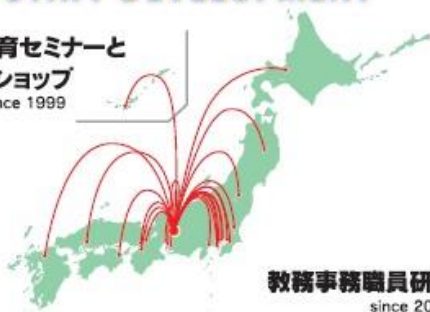
技

- Simulation 教育の開発
- Teaching & Learning skill の普及

研修事業

STAFF DEVELOPMENT

医学教育セミナーと
ワークショップ
since 1999



教務事務職員研修
since 2000

問題基盤型学習

PROBLEM-BASED LEARNING

役立つ知識 問題解決力 能動的学習 討論力 患者中心の姿勢

時代の荒波を乗り越える能力

“知識の成木を移植するのではなく
苗木を育て森を創る”

大学院

DOCTORAL COURSE IN MEDICAL EDUCATION

医学教育学博士課程



シミュレーション教育

SIMULATION



医学教育共同利用拠点
岐阜大学 医学教育開発研究センター

MEXT NATIONAL COLLABORATION CENTER

MEDC

MEDICAL EDUCATION DEVELOPMENT CENTER, GIFU UNIVERSITY

e-ラーニング

e-LEARNING

MEDC Home



コミュニケーション教育

COMMUNICATION

傾聴と共感

心理・社会的背景の理解

IPE

良好な患者・医療者関係の構築

情報収集能力

説明能力

患者中心の医療

“患者の話に耳を傾け、心身の痛みに共感する”

英語教育

ENGLISH EDUCATION

International Electives
English for Medical Practitioners Workshop



国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE



最新情報 日本からの情報発信 国際的医療人の育成 共同研究

医学教育共同利用拠点
岐阜大学 医学教育開発研究センター

HOME サイトマップ 交通アクセス お問い合わせ ENGLISH



概要 FD・研修 教育 大学院・研究 国際交流 学務事務

メンテナンスによるシステム停止のため、8/22(月)はMEDCホームページをはじめその他関連サイトが閲覧できないことがございます。ご迷惑をおかけしますが、宜しくお詫い致します。(2016/8/17)

概要

教員
スタッフ
国内 客員教授
国外 客員教授
医学教育共同利用拠点

FD・研修

医学教育セミナーとワークショップ・
事務研修
その他のFD・セミナー

教育

大学院・研究

国際交流

国際共同研究
海外臨床実習プログラム
医療英語ワークショップ

学務事務

関連組織

日本医学教育学会
医学教育UNIT
日本シミュレーション医学教育学会
臨床コーチング研究会
医療系e-learning全国交流会

医学教育セミナーとワークショップ・事務研修

- 第61回 医学教育セミナーとワークショップ (終了)
2016年8月19日(金)~21日(日)
- 第62回 医学教育セミナーとワークショップ in 兵庫医大
2016年10月22日(土)~28日(日)
- 第63回 医学教育セミナーとワークショップ
2017年1月28日(土)~29日(日)

FD

アソシエイト・フェローシップ

アソシエイト・フェローシップのご案内

インターネットチュートリアル/案位置案The Tutorial

- 学部版 大学院版 「アカウント作成とログイン手順」
- 英語版:Rakuichi The Tutorial

PBL・チュートリアル

- PBLチュートリアルシステム
- PBLチューターFD 学生ガイダンス

コミュニケーション・プロフェッショナリズム教育

- 医療面接実習 地域体験実習
- OSCE・臨床実習入門 医師・患者関係コース

Gifu Medical Education e-learning system

- Gifu PBL Tutorial System
- シミュレーション教育システム
- 症例データベース素材
- PBLシナリオネットワーク (準備中)
- e-portfolio
- Procedures Consult ID・FMDのわからない方、取得希望の方はMEDCへメールでご連絡下さい。

Skills-lab
Simulation education
臨床スキル シミュレーションラボ

e-learning

learning

NEW!
雑誌投稿のお願い

ビタミンE-mail

Medc-leaflet

MEDC関連書籍

外部評価報告書

■ Gifu medical Education/e-learning System構築の目的

- 岐阜大学医学部(医学科)における学習環境をより向上させる。
- 全国ならびに世界の学生との交流を通じた学習環境を提供する。
- 医療系教員FD・医療系事務SDの全国展開

e-Learning systemの構築

- **PBL教育**: シナリオ, 画像、動画、シラバス等を配信し、問題
基盤型学習を支援
- **インターネットPBL**: 国内(学部版、大学院版)、国際版(英語)
- **シミュレーション教育**: 作成した各種動画コンテンツを配信
- **eポートフォリオ**: 学生が実習体験を振り返り、教員がフィード
バックできるシステム
 - ✓ 「地域体験実習」・「医療面接」用 eポートフォリオの構築・実践
- **医学教育セミナーとワークショップ参加者データベース**
 - ✓ 参加申し込みサイト
 - ✓ アソシエイト、フェローシップ認定

そもそも PBLとは？

- アクティブ・ラーニング*の一手法
- 小グループで討論しながら学生自身が主体的に学ぶ学習方法

Problem-Based Learning (PBL)

問題基盤型学習

少人数能動学習

Tutor = 学生の自己学習を援助する教員（ファシリテーター）

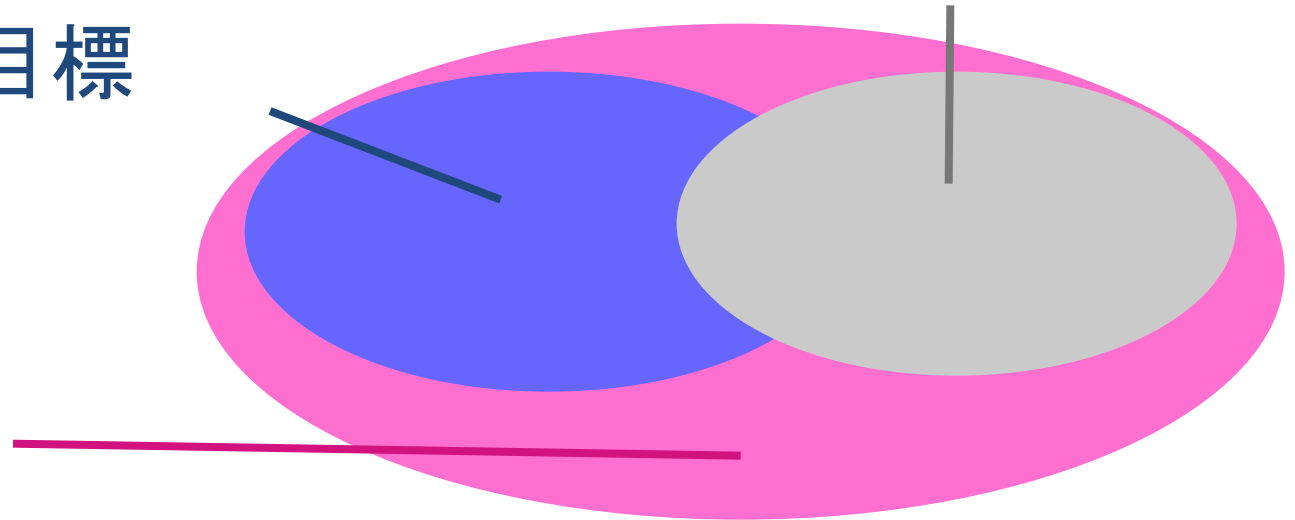
*“学習者にある物事を行わせ、行っている物事について考えさせること”

Bonwell CC & Eison JA (1991)

コアタイム時の症例・シナリオ に基づく学習目標

講義・実習でカバー
する学習目標

自己学習に
まかされる
部分



PBL(対面型)

- 岐阜大学では全国に先駆け1993年より臨床実習前教育(基礎・臨床)のすべてをPBL教育で実施している
- PBL教育の導入により、知識獲得能、国家試験合格率等の有意な増加を確認 (Niwa, M et al., Health Professions Education, 2016)
- 多数のチューター(教員)、小部屋など多くの設備が必要
- 対面・グループでの実施が原則(時間・空間の制限)



On lineでPBL

Internet PBL=楽位置楽The Tutorial

Internet PBL



Internet による Problem Based Learning

- ホームページを用いて教材（シナリオ）の提供
- 「web掲示板」を用いて学生間の 討論、チューター
の助言、学習成果の発表を行う（実施初期にはメーリン
グリスト）
- 学生、チューター、ディレクターはいつでも、
どこからでも学習に参加できる
- 大学間の交流、教員・リソースの相互利用が可能
- 国際交流（英語教育）

インターネットPBL/楽位置楽The Tutorial

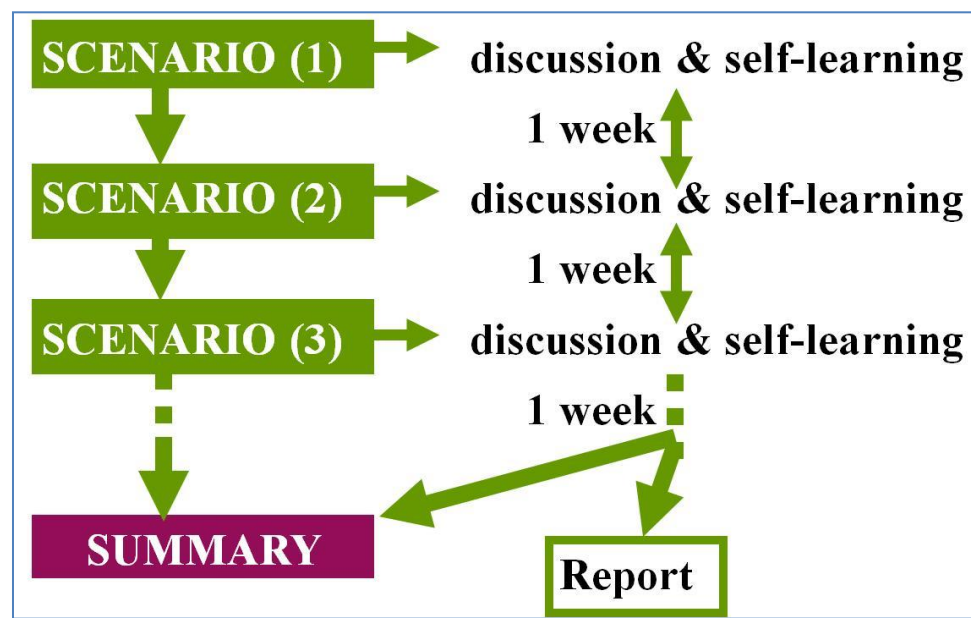
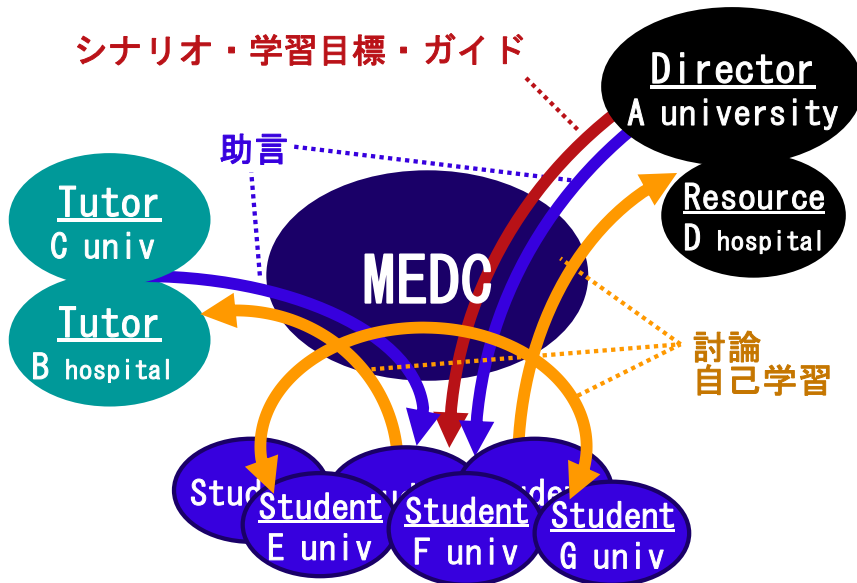
概要



- ・学部版
- ・大学院版：修士・博士
- ・英語版

実施コース：92コース
延べ参加人数：5952名

シナリオ・学習目標・ガイド



インターネットPBL/楽位置楽The Tutorialシステム
 フロントページ 発言ボード シ

シナリオ揭示画面

学部版

楽位置楽 THE TUTORIAL



楽位置楽(The Tutorial)は、インテリ・ネット上で運営されるTHE TUTORIAL系。MEDOが主催です。世界中に広域でも、いつでもどこでも利用者が集まっています。自分の最大の関心の分野に参加できる。総論から専門まで。自由に学び、参加できます。すなわち、楽位置楽で楽しめるTUTORIALです。

事務局では、文庫館の学生、教員、医職連と、全般的バックアップ(学費や医療歩行レポート)とします。教員・医職も本業の仕事とならぬ。教育に貢献できる。

学ぶという事	チュートリアル員具体	参加方法	連絡先	ログイン
--------	------------	------	-----	------

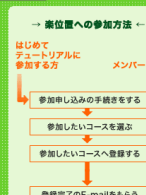


**学生として
参加したい!**



**現在どんな
コースを募集中?**

→ **楽位置への参加方法 →**





チュートリアルって何?



**楽位置楽 THE TUTORIAL について
どんな人が参加するの?**



**おめでどう!
これで君も楽位置メンバーだ!**



**? 学生時代何を
学ぶべき?**

**何が医学上の
問題?**

[illegible]

シナリオその1: 僕は中小企業の一応社長です

コース名: ライフサイエンスセミナー 難士版 10課選2. 生活習慣病

シナリオその1: 僕は中小企業の一応社長です

2010年 10月 13日

僕は中小企業の一応社長です。52歳。

経歴はなかなか順い暮らしをいひたい。をさしてゐる。

生来大工親の息子ですが、高校時代のサッカーをやめ、今もシニアサッカーでキーパー兼チーム代表を務めています。元力自衛隊員で、健康増進にあまり関心ありません。

健康増進局と健康の推進局のプロジェクトに就いて、アクアビクスをしているようです。一棒とつかつかしみに取り組まれています。相づいてもらいます。

SCENARIO

Scenario "my tomato soup"

Released Date: 12/12/2006

Course: Foods and money

Three weeks ago, I was investigating plants at high altitude alpine zone (ca. 4300m above sea level) in the Peruvian Andes. I am a botanist and really love the fieldwork especially in mountains. Therefore, the investigation was really exciting. I tried to describe the morphology of *Puya raimondii* (a plant species; the biggest pineapple species in the world; ca. 12 m tall) endemic to the Andes. During the investigation, however, I had been suffering from a terrible mountain sickness and sometimes used an oxygen mask.

Fortunately for me, the headache of a mountain sickness became better when I returned to my hotel at night, because the altitude of my hotel was not so high (ca. 3100m alt.:?). In the morning, a comfortable bed and warm foods were waiting for me. After a hard working in the daytime, I was waiting impatiently for a dinner. I started my dinner with very hot tomato soup that is my favorite.

One night at a restaurant, I suddenly realized that my tomato soup was a very special dish just in the Andes area. As you know, tomato soup must be one of the most popular dishes

自己紹介画面

コース	医師と生体：2009年医師と生体の共生のめざす	クラス	クラス 7
ディレクター	高橋 隆三（埼玉大学）、鈴木 清一（埼玉大学）、伊藤 和久（埼玉大学）、月岡 雅之（埼玉大学）	名前	高橋 隆三
		所属	埼玉大学 医学部 MEDC
		自己紹介	埼玉大学で専攻中。イラストのよみ解読的人物像を付けた。私の得意分野、で夢野が役にたてる。 生まれは、群馬県、 育ちは、父国、 父業は、音楽独立経営大卒。 専門上、医学部生。 所属系大、カレッジ・ユニバース、ジレンマがキス大卒。ウスイモノ／モノ大卒業後大卒に在籍中。

✉ [メール](#)

[コメントを投稿するには](#)

大学学院版



大学院 学位資格 THE TUTORIAL

[ホーム](#)
[MYアカウント情報画面](#)
[ログイン](#)
[ユーザーネームがパスワードと異なる方](#)

コース一覧

ページ: 1/13

コース	開講曜日・月	状態
デザイン入門 (講師) デザイン 高橋 隆三(専攻学生) 片岡 竜典(専攻学生) 専攻科の専攻: 文化創造学、工学系の大学卒業 内容: 人間が持つデザイン(情報)の歴史から、これからの生活に役立つものの創造、制作、合理性を学びます。 紹介: うちから、世界のデザインがわかるこの学習プログラムです。	2011 年 04 月 13 日	進行中
デザイン入門(第二上級) 片岡 竜典(専攻学生)		実習終了: 4
ライティング入門(第二上級) 10月開講: 藤本 上幸と山本 謙雄	2010 年 10 月 01 日	終了
専攻科に在籍する学生が受講したいもの、この試験を元に受講の可否 (デザイナー) 田辺 隆典(専攻学生) 内田 隆史(専攻学生) 飯田 孝一(専攻学生)		実習終了: 4

**大学院
奈位置 THE TUTORIAL**



ホーム MYアカデミィ ログアウト

コースページ

検索:

コース名: ライフサイエンスセミナー「修士」の課題②_生活習慣病

クラスメイト (12)	発言 (118)
山本 陽介 朝田 知恵 生島 朝田 洋輝 佐藤 上瑞 鎌倉 健夫 飯村 友二 三野 光浩 石坂 真之 山根 隆志 内見 智也	お知らせ 05. シナリオ中の4名の発言です 丹羽です。 皆さんこんにちは。 コース最後のシナリオがアツキです。 前回までの様式はわかりませんが、生活習慣病と密接な関連のある題材です。関係について調べて下さい。 物でも身近な話題です。 なお、今回の「全員集合会」は7月22日です。 いままでのシナリオに際しても全て、活発な反応を期待します。

発言 URL: http://www.medic-gifu-u.ac.jp/cgi-bin/htmlObjects/medicClientArea/4/isa/view/CourseBoard?messageID=21355&uniqueID=U7cYQ0HMD0OTQ/nzc28.

>> シナリオ中の4名の発言です

引用発言 返信発言 新規発言

RAKUICHI THE TUTORIAL

[Rakuichi Home](#)
[MY Account](#)
[Logout](#)

Course:
Foods and money

Foods & Money Class 1

Foods & Money Class 1

[Update My Page](#)
[Update My Preference](#)
[Change Password](#)
[Logout](#)

Classes (17)

[Anki Phrases](#)
[Full Phrases](#)
[Kanji Mnemonic](#)
[Kanji Mnemonic](#)
[Kanji Expression](#)
[Kanji Note](#)
[Kanji Quiz](#)
[Kanji Quiz](#)
[Kanji Quiz](#)
[Kanji Quiz](#)
[Kanji Quiz](#)

Posts (64 Posts)

Page: 1/1

Subject	Posted By	Date/Time
63. Re x 6: Kawakubo sensei was on TV !	Masayuki Niwa	02/09/2007 07:17:53 PM
Dear Kawakubo sensei, Dear all, I also enjoyed TV program "Darwin ga kita (Darwin has come)". That plant, Puya raimondii, come into bloom every hundred years. I really surprised. Does the plant accumulate the energy to have flower for 100 years? How they notice the timing? What kind of mechanism takes part there?		

楽位置楽 THE TUTORIAL

RAKUCHI TUTORIAL is an internet tutorial system operated by the Medical Education Development Center (MEDC) of Gifu University. It is an active self-learning forum that you can use as a supplement to your own medical studies. You can participate in Rakuchi from anywhere in the world, at home or school.

Medical students, instructors and professionals from around the world can participate in Rakuchi. The site is supported by a volunteer staff of teachers and doctors who take time away from their normal work to take part in medical education.

RAKUCHI
COURSES
JOIN RAKUCHI
CONTACT
LOGIN



Join Rakuchi!



What Courses are Open?



What is the Tutorial?



Origin of Rakuchi

→ HOW TO RAKUCHI →

You are a **FIRST TIME USER**

Sign Up for an Account

Pick Courses You Like

Apply for the Courses

Receive Confirmation Email

Congratulations, now you are a **Rakuchi Member!**

You are a **MEMBER**

— Principles of Rakuchi the Tutorial —

Medical school professors are not the only people who can educate tomorrow's doctors who will be protecting people's health. Thanks to the internet, whether you are a doctor in a hospital, private practitioner, or a retired doctor, there are no hurdles blocking you from educating today's students.

Please lend a hand and share your knowledge in helping raise the next generation of medical professionals.

英語版

インターネットPBL: 正式カリキュラムとして実施

➤学部教育

✓学部教育における正式カリキュラムコースの開始

- 2002年度～「医療と生命Ⅰ」コース: 岐阜大学全学共通教育(1年生)
- 全国複数(7大学)が正式カリキュラムの一環として参加。

✓英語教育

- 2006年度～「英語で学ぶ生物学」コース

✓BLS教育

- 2006年度～「BLS あなたが助ける人の命」コース

✓シミュレーション医学教育

- 2007年度～「医療と生命Ⅲ(学内限定、定員性)」コース

➤修士課程教育

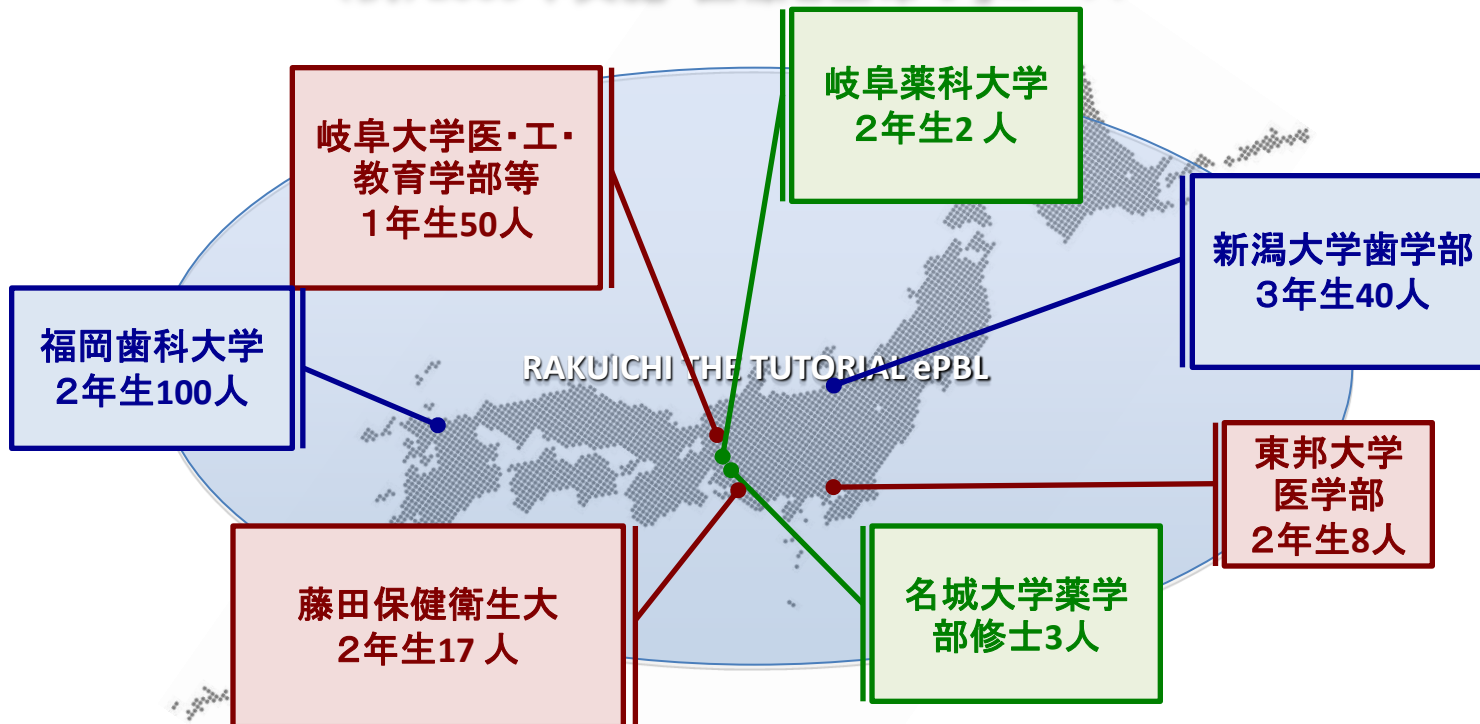
- 2006年度～岐阜大学工学部ライフサイエンスセミナー(正式カリキュラム)
- 2006年度～遺伝カウンセリングコース「くらしきテュートリアル」
 - ・遺伝カウンセリングに必要な基礎知識と技法を習得する

➤博士課程教育

- 2007年度～「インターネットで寄生虫学を学ぶ」コース(医学系研究科)
- 2007年度～「医用分子システム工学特論」(連合創薬医療情報研究科補完コース)
- 2007年度～「医用工学概論」(連合創薬医療情報研究科補完コース)
- 2008年度～「生体ラジカル制御学」(連合創薬医療情報研究科補完コース)
- 2011年度～「マシーンと人体」コース(医学系研究科)

Inter-Professional インターネットテュートリアル コース (職種間連携(IPE)を視野に入れたコース)

(例)2009年実施「医療と生命 I」コース



単位取得判定基準例

- A大学(1年生選択科目)
 - 発言数とレポート内容(内容が稚拙なものは再提出)
- B大学(1・2年生選択科目)
 - レポートと各自がインターネット上に書き込んだ内容を併せて十分な自学自習がなされていると判断できたものに単位を与える。
 - 発言(書き込み)が3回程度しか無い場合、よほどレポートの独自性がないと不合格。
 - 例年半数程度が不合格。
- C大学(2年生必修科目)
 - 出席・発言回数:50% レポート評価:50%
 - 毎週水曜日第2限に時間を決めてアクセス。

インターネットPBL まとめ

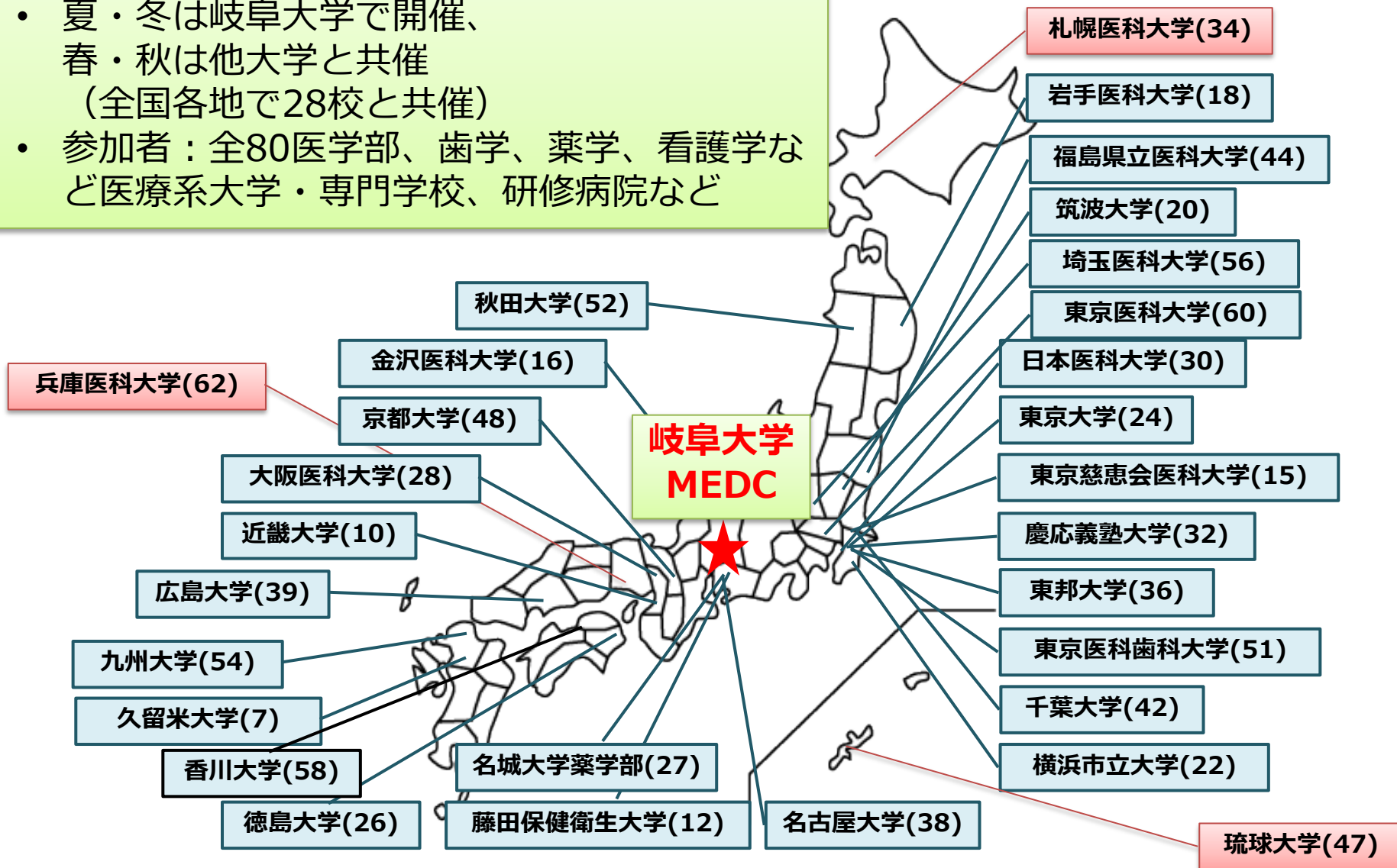
- 2001年のMEDC設立以来、学部、修士過程、博士課程さらには海外の学生を対象に、インターネットPBL学習を実践してきた。
- 実施コースは現時点までで、92コース、延べ参加人数はほぼ6,000名となった。
- カリキュラムとリンクした、単位認定を伴ったコースも運用し、全国から複数大学(複数の学部)がコースに参加した。

インターネットPBLの応用編

2. Onlineシステムを活用したアソシエイト/ フェローシップ プログラムの構築ならび に実践

医学教育セミナーとワークショップ

- 年4回、通算61回、のべ6,500名以上の参加
- 夏・冬は岐阜大学で開催、
春・秋は他大学と共催
(全国各地で28校と共催)
- 参加者：全80医学部、歯学、薬学、看護学など医療系大学・専門学校、研修病院など



5173名

□ ~20名
 ■ 20名~
 ■ 50名~
 ■ 100名~
 ■ 200名~

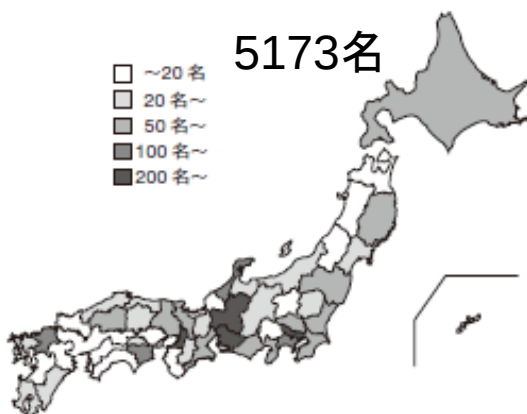


図 1-2 都道府県別参加者数

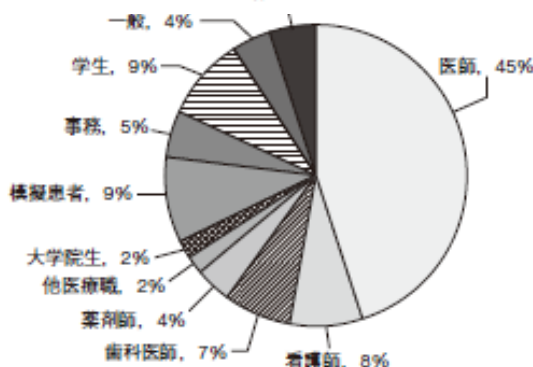


図 2-2 参加者の職種

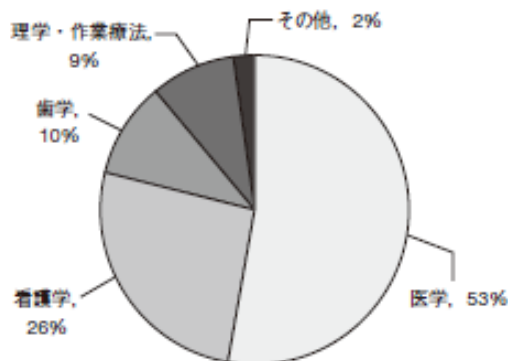


図 3 大学・附属病院関係者の専門職

第1~50回S&Wのまとめ(西城, 丹羽ら:医学教育,

表 1 これまで全 50 回で企画されたワークショップとセミナー(講演)の内容 (n = 325)

領域	開催回数	例
<u>Teaching and Learning</u> 教授と学習(教育方法や学習方法そのものについて)	74 (23%)	PBL チュートリアル教育, シミュレーション教育, e-learning 等
<u>Learning Outcome</u> 様々な学習成果とその教育(Outcome に設定されるような学習目標や領域の教育方法)	68 (21%)	臨床推論, EBM, 基礎医学教育, コミュニケーションスキル, プロフェッショナリズム, 多職種連携等
<u>Personal Development</u> 学習者, 教育者, 模擬患者(様々な立場の個人の能力開発や教育的支援,)	48 (15%)	教員養成, 医学教育, 模擬患者育成, 学習者へのコーチング, メンタリング等
<u>Assessment</u> 評価(学習成果の評価)	41 (13%)	OSCE, 国家試験, ポートフォリオ, Script Concordance test 等
<u>Medical education in general</u> 医学教育一般(医学教育に関する理論や原理的モデル, 全般にわたる話題)	36 (11%)	Best Evidence Medical Education, 認知心理学, 医学教育学ベーシック等
<u>Curriculum</u> カリキュラム分析・評価・開発(カリキュラムやプログラムの開発から評価まで)	17 (5%)	アウトカム基盤型教育プログラム, 基礎統合実習, クリニカルクラークシップ等
<u>Research</u> 医学教育研究(医学教育における研究の方向性から研究手法まで)	11 (3%)	リサーチクエスション, SPSS を用いた教育研究の統計, 質的研究, 談話分析等
<u>Management and Leadership</u> 管理とリーダーシップ(教育者としての管理能力やリーダーシップ, 組織の運営に関する事項)	8 (2%)	国際認証, 医学教育専門部署の役割, 組織づくり, スキルラボの運営等
Others その他	22 (7%)	



- のべ6,500人以上参加
- リピータが多い（10回以上参加者多数）
- 医学教育に関するWSやセミナーをバランスよく受講している
 - ◆ 教育方法（Teaching & Learning）
 - ◆ 評価（Assessment）
 - ◆ カリキュラム設計（Curriculum Development）
 - ◆ 運営とリーダーシップ（Management/Leadership）
 - ◆ 学究的活動（Research）
- 医学部教員のみならず歯学・薬学・看護・リハ等の教員、病院指導医・研修医も多数参加
- 医師のみならず医療職関係者（歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士等）が多数参加

- ↓
- 多くが更なる医療教育・医療研究に関するスキル・知識のレベルアップを希望している（アンケート委調査実施）

- ↓
- 何らかの認定コースの設定

→

アソシエイト/フェローシップ認定制度



参加者が創り出す、周辺参加的コミュニティ

大学院
博士課程

MEDC フェロー
(フェローシップ修了者)

MEDC アソシエイト
(セミナーとワークショップ単位修得者)

セミナーとワークショップ参加者
(医療教育者のコミュニティ)

MEDCアソシエイト/フェローの認定 ～ さらなるステップアップを目指して ～

MEDCアソシエイト

一定の回数、特定の領域のワークショップとセミナーに参加し単位を取得した方をMEDCアソシエイトに認定します。

MEDCフェロー

アソシエイトに加え、フェローシップのモジュールを修了した方をMEDCフェローと認定します。

“医学教育セミナーとワークショップ”

～ すべての医療教育者へ～

アソシエイト制度

(参加ポイント制)

～ 教育の仲間を増やしたい方へ～

フェロシップ プログラム (online course)

～ ご自身の教育を改善したい方へ～

大学院
医学修士課程
(将来構想)

大学院
医学博士課程

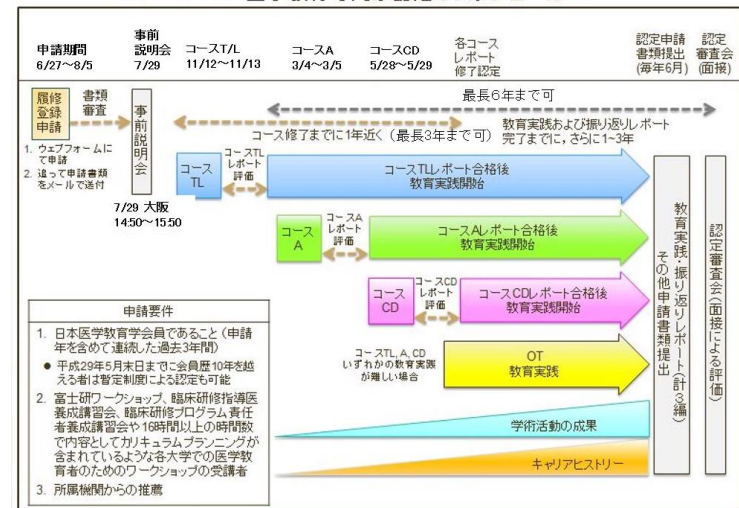
医学教育学会

(すべての医療教育者)

認定医学教育専門家制度

- ・ 医学教育学会会員
- ・ 16時間以上の医学教育者WS受講者
に限る

<< 2016年度 医学教育専門家認定のスケジュール >>



歯学・薬学・看護学・・・?

医学教育セミナーとワークショップ Workshop

内容

- 医療教育に関心のあるすべての皆様に、「医学教育セミナーとワークショップ」を提供しています。
- 初学者からベテランまで様々なレベルの医療教育者が自由に参加できる年4回(うち2回は岐阜開催)の会です。
- ワークショップでは、教育方法、評価、カリキュラム設計、運営とリーダーシップ、研究などの企画を自由に選択して、手軽に学べます。セミナーでは、最新情報をまとめて聴くことができます。
- 企画の公募を行い、斬新なアイデアを幅広く取り入れています。

- ✓ 参加者はアカウントを作成
- ✓ 参加により自動的にポイントがたまる

HOME ・ サイトマップ ・ 交通アクセス ・ お問い合わせ ENGLISH

第61回医学教育セミナーとワークショップ

開催日時
2016年08月19日(金)～21日(日)

▼ダウンロード(PDF)
実施要項/日程表/BS&Mポスター

開催会場・受付場所
〒501-1194 岐阜県岐阜市御幸一丁目1-1 >>アクセス方法
※バスをご利用の方は、「岐阜大学病院」バス停で降車していただくことが便利です。
岐阜大学(医学部キャンパス) 教育・福利課 2階 ラウンジ
>>受付案内図(PDF)
>>会場案内図(PDF)

第61回医学教育セミナーとワークショップ
開催日：2016年08月19日(金)～2016年08月21日(日)
場所：岐阜大学(医学部キャンパス)
ワークショップ・セミナー申込み <締め切り 2016年08月01日(月)>

※ワークショップ・セミナーに参加するには受講者登録が必要です。
今回初めてワークショップ・セミナーに参加される方
受講者新規登録からお申込みいただけます。登録完了後ワークショップ・セミナーの受講申込みをして下さい。

過去にワークショップ・セミナーに参加された方

- ▶ 受講者情報の更新がお済みの方 **ログイン** からワークショップ・セミナーをお申込みください。
- ▶ 受講者情報の更新がお済みでない方 ... ログイン後にパスワードの変更を行ってください。画面にワークショップ・セミナーお申込みボタンが表示されますので、そこからお申込みを行ってください。

お申込みについて

>> 申込みフォーム

《参加ご希望の方へ》
・お手数ですが左記「申込みフォーム」にてお申し込みください。
・締切：2016年8月1日(月)
・【注意】自動受付のため定員に達したら受付終了となります。定員超過後にお申込みされた方は受付できません。ご理解のほどお願いいたします。

>> 講師登録フォーム

《講師の登録について》
・お手数ですが左記「講師登録フォーム」にてお申し込みください。
・締切：2016年8月1日(月)

ワークショップ・セミナー名	19日(金)		20日(土)				21日(日)
	13:00	17:15	9:00	13:00	17:15	18:30	9:00
	17:00	18:45	12:30	17:00	18:15	20:00	12:30
W-1 新専門医制度時代の臨床研修ー卒前から後期までのシームレスな教育を現場から考える							
W-2 授業方略ビジュアル大会							
W-3 アウトカム基盤型カリキュラムにおける学習者評価を考える							
W-4 医師のプロフェッショナルアイデンティティ形成(PIF)を考える							
W-5 アクティブラーニング：やる気・関わり・深い学び							
W-6 看護教育における模擬患者養成ABC							
W-7 卒前から卒後に至る歯科医療面接のルーブリック評価を作ろう							
セミナー1 世界標準の臨床実習はこれだ							
セミナー2 卒前・卒後医学教育での選抜におけるマルチプル・ミニ面接法							
懇親会							

内容

- 医療教育学には、**教育方法・評価・カリキュラム設計・運営とリーダーシップ・学術的活動**といった基本領域があります。「医学教育セミナーとワークショップ」の、**各基本領域(エリア)の企画に**、一定の回数以上参加され、**幅広く学んだ方をアソシエイトに認定**します。

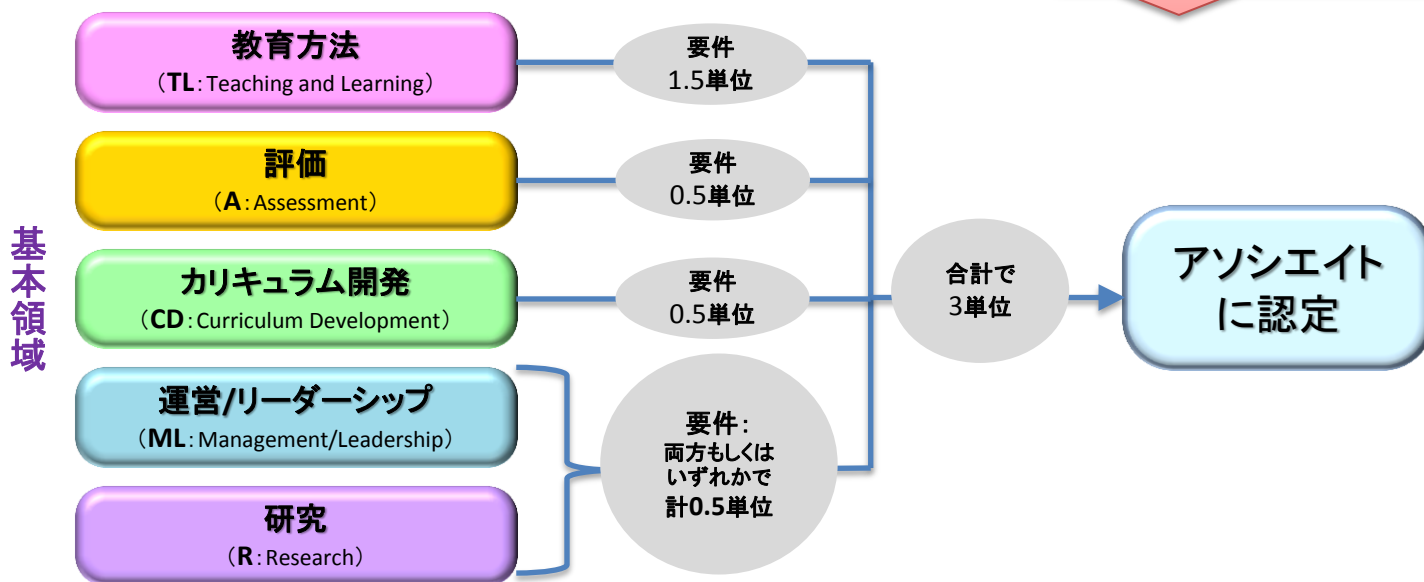
要件・特典

- ワークショップやセミナーの参加、もしくは講師としての企画により各基本領域から**合計3単位取得**することが必要です。(半日WSは0.25単位、1日WSは0.5単位、セミナー(講演)は0.125単位)
- 医療教育に関して様々な情報を得たり、意見交換できるメーリングリストに参加できます。

申請

- MEDCの**個人ページ**で履修状況が確認できます。
- 単位は、**2010年の第35回以降の参加歴を有効**として、換算しています。
- MEDCホームページで**単位の確認・申請ができます**。(認定料2000円)

✓ 基準ポイントがたまり、
申請するとアソシエイト
として認定される



単位確認作業手順

概要 FD・研修 教育 大学院・研究 国際交流 学務事務

概要

教員

スタッフ

国内 客員教授

国外 客員教授

医学教育共同利用拠点

FD・研修

医学教育セミナーとワークショップ・

事務研修

その他のFD・セミナー

教育

大学院・研究

国際交流

国際共同研究

海外臨床実習プログラム

医療英語ワークショップ

学務事務

関連組織

日本医学教育学会

医学教育UNIT

日本シミュレーション医療教育学会

臨床コーチング研究会

医療系e-learning全国交流会

リンク集

交通アクセス

ホーム > アソシエイト・フェローシップのご案内

アソシエイト・フェローシップのご案内

Medical Education Development Center, Gifu University

岐阜大学医学教育開発研究センター(MEDC)は、文部科学省に医学教育全国共同利用拠点として認可され医療教育の発展に日々尽力しております。「医学教育セミナーとワークショップ」は60回を数え、のべ6000人の全国の皆様とともに医療教育の旅を続けてまいりました。これまでのご参加に厚く御礼申し上げます。

そして、医療者教育者としての継続的ステップアップを支援するため、二つの新たな認定制度、MEDCアソシエイト制度とMEDCフェローシッププログラムをご用意いたしました。

MEDCアソシエイト/フェロー リフレット >>ダウンロード(PDF)

アソシエイト制度とフェローシッププログラムに関してご関心のある方は、こちらをご覧ください。

MEDCフェローシッププログラム参加者募集

フェローシッププログラム参加者を募集いたします。今年度の募集期間は以下の通りです。

※ギフト・モジュール1:平成28年4月25日(月)～5月26日(木)まで

※ギフト・モジュール2:平成28年9月12日(月)～10月20日(木)まで

※ギフト・モジュール3:平成28年12月19日(月)～平成29年1月26日(木)まで

ご希望の方は、[こちら](#)のフォームをダウンロードして medc@gifu-u.ac.jp までお送りください。

MEDCアソシエイト認定単位取得状況の確認手順

これまでに医学教育セミナーとワークショップにご参加いただいております。MEDC受講者登録がお済みの方で、アソシエイトに必要な取得単位数をご確認したい場合は[こちら](#)をご覧ください。なお、セミナーとワークショップの単位認定は、医学教育全国共同利用拠点として認可されてより以降の開催回(35回以降)に遅刻・早退なく出席した場合に限っておりますので、ご了承ください。

MEDCアソシエイト、およびフェロー認定申請

アソシエイト制度とフェローシッププログラムにおいて、必要単位を取得された方で、認定をご希望される方は、[こちら](#)のフォームをダウンロードして medc@gifu-u.ac.jp までお送りください。取得単位数については、申請前に一度ご確認ください。

MEDCフェローシップ参加の方へ >> [こちら](#)

※ギフト参加者向けのログイン入口です。

MEDCアソシエイト/フェロー FAQ >> [こちら](#)



[MEDCホームページからセミナー&ワークショップを申込み] [受講履歴照会] [受講者情報変更]

受講履歴が照会できます

単位確認例

必要単位数の取得



アソシエイト
認定申請ができる

認定状況

カテゴリ	T/L	A	CD	M/L	R	計
認定に必要な単位	1	0.5	0.5	1		3
現在のあなたの修得単位	1.25	1.125	0.875	0.975	1	4.625

※認定に必要な単位以上の単位を修得すると赤字で表示されます

受講履歴検索

S&W No

全て ▼

カテゴリ

全て ▼

ワークショップ・セミナー名

検索 | リセット

20件中 1~10件を表示

S&W No	ワークショップ・セミナー名	カテゴリ	修得単位
SW55	W-1: 複雑性の視点で多職種での事例検討を振り返る	T/L	0.25
SW54	W-6: 模擬患者大交流勉強会	T/L	0.5
SW54	懇親会		
SW53	W-2: 量的データを用いた医学教育研究のための統計解析(初級版)	R	0.5
	W-6: 総合的臨床能力を評価するOSCEの設計: ブループリントの作成から合否判定まで	A	0.5
	セミナー 医学教育における学習者評価	A	0.125

* 受講履歴照会の見方

● カテゴリ: 医学教育を領域別に表しています。右の数値は認定に必要な単位です。

T/L ... Teaching / Learning 1単位

A ... Assessment 0.5単位

CD ... Curriculum Development 0.5単位

M/L ... Management/Leadership } 1単位

R ... Research

● 認定に必要な単位: アソシエイト認定に必要な単位数で、フェロー取得にも必須です。M/LとRは合計で1単位以上必要です。

● 単位の計算方法は以下の通りです。

ワークショップ半日=0.25単位

セミナー=0.125単位

セミナー&ワークショップ
受講者管理システム

フェローシッププログラム

MEDC医療教育トータルラーニングコース

“**メドギフト**” (MEDC, Gifu Total learning course)

オンラインコース	モジュール1	モジュール2	モジュール3
ワークショップ	TL 領域 0.5単位	A 領域 0.5単位	

アソシエイト認定

* モジュール1, 2に含まれるワークショップで取得する単位も含まれます。



終了後
フェロー
シップ
申請



フェロー
シップ
認定

モジュール1: 医療者は様々な場面で、
周囲の人とどのように学
ぶのか？

WS
0.5単位

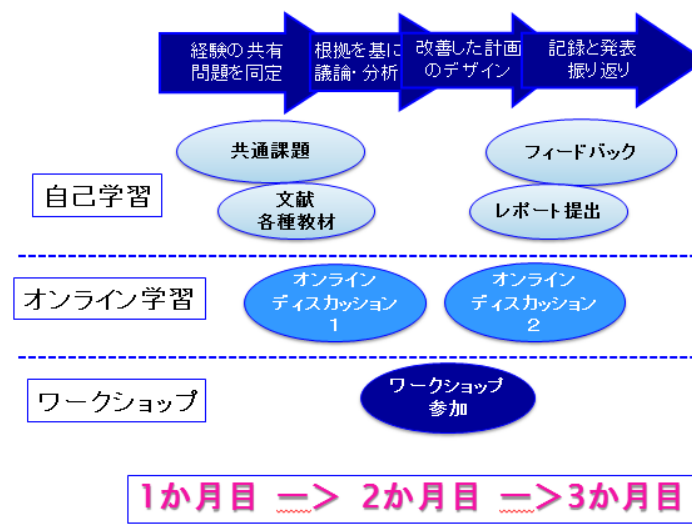
モジュール2: 医療者は働きながらどの
ように専門性を高められる
のか？

WS
0.5単位

モジュール3: 医療教育者は、教育実践を
どのように学術的に発信
できるか？

WS
0.5単位

フェローシップ・モジュールの構造



2015年度実施の フェローシップトライアルコース



MEDC Fellowship Programme in Health Professions Education Learning Guide Book for Module1
“How can health professionals learn with peers effectively?”

医療教育者のための MEDC フェローシッププログラム

モジュール1学習ガイドブック

“医療者は様々な場面で、周囲の人とどのように学ぶのか？”

<期間>

2015年7月1日（水）～10月2日（金）

参加申し込み	22名
医師	9
歯科医師	2
薬剤師	2
看護師	3
臨床検査技師	1
理学療法士	2
作業療法士	2
SP	1

2クラスの
Online
コースで実施

4. スケジュール

モジュール1の日程表

日時	内容	備考	方法・サイト
7/1(水) or 7/2(木) 18時～ 19時15分～	オリエンテーション フェローシッププログラムへようこそ！	* 約一時間です * 指定された日時でご参加ください。 * テレビ会議システムの入り方は後述 * 簡単な自己紹介をお願いします。	Vcube システム使用
7/3(金) – 7月9日(木)	キックオフセッション 自己紹介&教育実践の共有！	* オンラインコース学習です。 * 事前にをお願いします。 * 自己紹介と教育実践について紹介してください。 * 他の参加者の教育を見て感想を書き込みましょう。	MEDC オンラインコース システム使用
7/10(金) – 7月21日(火)	課題① 意味のある学びをもたらすには？	* 後述の学習課題をご覧ください。 * オンライン学習です。	
7/22(木) – 8月6日(木)	課題② 魅力のある評価をするには？		
8/7(金) 14時～18時 8/8(土) 9時～12時30分	ワークショップ アクティブラーニング	* MEDC のサイトより参加の事前登録をお願いいたします。(後述)	岐阜大学での ワークショップ
8/10(月) – 9/2(水)	課題③ 教育の全体像をデザインする	* 後述の学習課題をご覧ください。 * オンライン学習です。	
9/3(木) – 9/13(日)	プロダクト作成 課題①②③まとめ・提出	* 作成方法は後述	MEDC オンラインコース システム使用
9/14(月) – 9/30(水)	評価 フィードバック	* 評価・フィードバックをお返しします * 合格となった方はモジュール1修了証明書をお送りします。	

- Online コース
- テレビ会議

MEDCアソシエイト、およびフェロー認定申請

アソシエイト 制度とフェローシッププログラムにおいて、必要単位を取得された方で、認定をご希望される方は、[こちらの](#)フォームをダウンロードして medc@gifu-uac.jp までお送りください。取得単位数については、申請前に一度ご確認ください。

MEDCフェローシップ参加の方へ >> [こちら](#)

メドギフト参加者向けのログイン入口です。



医学教育共同利用拠点
岐阜大学 医学教育開発研究センター

[HOME](#) [サイトマップ](#) [交通アクセス](#) [お問い合わせ](#) [ENGLISH](#)



医学教育共同利用拠点 岐阜大学 医学教育開発研究センター

[概要](#) [FD・研修](#) [教育](#) [大学院・研究](#) [国際交流](#) [学務事務](#)

概要

教員
スタッフ
国内 客員教授
国外 客員教授
医学教育共同利用拠点

FD・研修

医学教育セミナーとワークショップ
事務研修
その他のFD・セミナー

教育

大学院・研究

[ホーム](#) > [アソシエイト・フェローシップのご案内](#) > [MEDCフェローシップ参加の方へ](#)

TV会議
システム

Fellowship
Online course

[7. テレビ会議システムV-cube
ログイン操作方法について](#)

[Online course ログイン手順書](#)

オリエンテーション
プレゼンテーションに使用

Online コースでのディスカ
ッション、プロダクト・画像・レ
ポート提出に使用



フェローシップ online コース

閲覧モード

楽位置楽The Tutorial/
インターネットPBLからの
システム流用

管理モード

MEDC Fellows Online Course

FELLOWSHIP

[ホーム](#) [MY アカウント新規登録](#) [ログイン](#) [ユーザーネーム/パスワードをお忘れの方](#)

コース一覧

ページ: 1 / 1

コース	開催期日	状況
MEDCフェローシップ2016 モジュール1	2016 年 06 月 01 日	進行中
概略: 医療者は様々な場面で、周囲の人とどのように学ぶのか? ディレクター: 西城 卓也 (岐阜大学) 実施回数: 5		
MEDCフェローシップ2015モジュール3_個別コース	2016 年 02 月 09 日	終了
概略: モジュール3個別コース ディレクター: 西城 卓也 (岐阜大学) 実施回数: 4		
MEDCフェローシップ2015モジュール3_全体討議コース	2016 年 02 月 09 日	終了
概略: MEDCフェローシップ2015モジュール3_全体討議コース ディレクター: 西城 卓也 (岐阜大学) 実施回数: 4		
MEDCフェローシップ2015モジュール2	2015 年 12 月 03 日	終了
概略: 医療者は働きながらどのように専門性を高められるのか? ディレクター: 西城 卓也 (岐阜大学) 実施回数: 4		
2015 モジュール1	2015 年 06 月 25 日	終了(非表示)
概略: 医療者は様々な場面で、周囲の人とどのように学ぶのか?		

楽位置楽The Tutorial 管理システム

[ログアウト](#)

- コース
 - コース一覧
 - 新規コース登録
- ユーザー
 - ユーザー一覧
 - 新規ユーザー登録
- コース環境設定
 - コースカテゴリー一覧
 - 新規コースカテゴリー登録
 - コースタイプ一覧
 - 新規コースタイプ登録
- ファイル共有
 - ファイルアップロード
 - ストーリー共有
 - ストーリー一覧

コース一覧

	ID	コース名	開催期日	コース状況	クラス数	クラスメイト数	参加希望数
	100	MEDCフェローシップ2016_モジュール1	2016 年 06 月 01 日	進行中	3	23	0
	98	MEDCフェローシップ2015モジュール3_個別コース	2016 年 02 月 09 日	終了	11	18	0
	99	MEDCフェローシップ2015モジュール3_全体討議コース	2016 年 02 月 09 日	終了	2	18	0
	97	MEDCフェローシップ2015モジュール2	2015 年 12 月 03 日	終了	3	31	0
	96	2015_モジュール1	2015 年 06 月 25 日	終了(非表示)	3	31	1
	95	フェローシップテストコース	2015 年 05 月 26 日	進行中	2	9	1
	94	テストコース1	2015 年 05 月 01 日	進行中	2	2	3
	51	新システムバージョンアップ版テストコース	2007 年 04 月 01 日	進行中	2	4	1

<< 前の 30 件

1 ~ 8 件表示 (全 8 件中)

次の 30 件 >>

30 件表示

- コースの詳細を表示します。
- コースの編集をします。
- クラスメイト一覧を表示します。

[新規コース登録](#)

[ホーム](#) [MY アカウント](#) [ログアウト](#)

コースボード

検索:

コース名: MEDCフェロシップ2015モジュール2

 教員用クラス
 クラス長良川
 クラス金華山

クラスメイト (19)



発言 (196)

ページ: 1 / 8

タイトル

発言者

発言日

173. 発表会のスケジュール

2016 年 01 月 22 日

みなさま

明日からよろしくお願いします。岐阜にも寒波が来ておりますので、暖かい格好でお越しください。

2月の発表会ですが、2月1日(月)から5日(金)17時から19時半の間で、1日あたり5名発表して頂きます。どの日にご参加できそうか、ワークショップの時にアンケートで確認させていただきますので、ご希望をご検討しておいてくださいませ。

よろしくお願いします。

発言 URL: <http://www.medc.gifu-u.ac.jp/cgi-bin/WebObjects/medcClient2.woa/1/wa/viewCourseBoard?messageID=33214&uniqueID=MjM5Nzg1NzM0OTM0MTI5&>

173. 発表会のスケジュール

▲上の発言

下の発言 ▼

196. 参加の鍵札

2016 年 02 月 08 日

195. 最終プロダクト

2016 年 02 月 05 日

194. 最終課題

2016 年 02 月 04 日

193. 最終課題提出(小西)

2016 年 02 月 03 日

2015年度フェローシップトライアル参加人数

モジュール1	モジュール2	モジュール3
クラス金華山:11名	クラス金華山:12名	クラス河原町:10名
クラス長良川:11名	クラス長良川:11名	

2016年度フェローシップトライアル参加人数

モジュール1	モジュール2	モジュール3
クラス金華山:7名	—	—
クラス長良川:7名	—	

フェローシップ・アソシエイト認定者数(単位取得後申請・認定者)

フェローシップ・アソシエイト認定	
フェローシップ認定	4名
アソシエイト認定	9名

モジュール1 (2016年6月13日-2016年9月9日)

“医療者は様々な場面で、周囲の人とどのように学ぶのか？”

進行中

教育実践の中で、学習者が教育者とどんな対話を通じて学び、評価を受け、プログラムを通じて成長するのかについて学びます。正統的周辺参加論、成人学習理論、認知的徒弟制、構成主義、インストラクショナルデザインに軽く触れながら各自の教育実践のブラッシュアップを図ります。

- ① キックオフセッション： 自己紹介と実践の共有、教育の多様性を知ろう
- ② 課題1：意味のある学びをもたらすには？—動機、主体性—
- ③ 課題2：魅力ある評価をするには？—学びの達成度はどのように評価できるか—
- ④ 課題3：教育をデザインする —魅力あるセッション—
- ⑤ WS： アクティブラーニング：やる気、関わり、深い学び

2016年度
フェローシップ

モジュール2 (2016年11月7日-2017年2月10日)

“医療者は働きながらどのように専門性を高められるのか？”

募集中

医療者は何を目指して、どんな環境で指導を受け、学び、評価を受けながら専門性を高めていくのか、各自のキャリアを振り返りつつ議論します。“ミラーの能力のピラミッド”や“エリクソンの熟達化理論”、評価の基本として提唱する“U=RVECA”を題材に、継続的能力開発のあり方を探索します。

- ① キックオフセッション： これまでの歩み —キャリアは十人十色。だから面白い—

モジュール3 (2017年2月13日-4月15日)

“教育効果は、どのように評価して学識ある発信ができるか？”

募集中

せっかくの教育実践をやりっぱなしで終わらせないため、その成果を確かめることが重要です。教育の成果を評価するさまざまな方法を理解し、“カークパトリックの4段階評価法”に基づいて考察できるようになります。また“教育”を研究として発信するプロセスのいろはも学びます。

- ① キックオフセッション：わたしの教育、効果あったんでしょうか？
- ② 課題1：教育効果を確かめる—評価方法のABC—
- ③ 課題2：教育効果判定を適切に解釈する—知識の向上から行動変容まで—
- ④ 課題3：リサーチクエストと方法を考える—学識ある発信のために—

これまでの道のり—

ツール—

どのように評価できるか？—

領域。2017/1/28午後-29午前。岐阜市。参加必須)

第62回 医学教育セミナーとワークショップ in 兵庫医大

2016年 10月22日(土)PM ~ 23日(日)AM
兵庫医科大学キャンパス

セミナー 多職種連携教育ツールiPEDによる学生教育と患者教育の接続
——参加者インタビューの質的分析——

TL 講師：肥田 武（名古屋大）

パネルディスカッション-1 医学教育IRの挑戦～ブレイクスルーを求めて

R 企画：恒川幸司（MEDC）、荒井貞夫（東京医大）、中村真理子（東京慈恵会医大）、岡田聡志（千葉大）、
神山千晴（岐阜大）

パネルディスカッション-2 医学教育分野別認証では何を評価されるのか

A 企画：鈴木敬一郎（兵庫医大）、福島 統（東京慈恵会医大）、羽野卓三（和歌山県立医大）

WS-1 模擬患者大交流勉強会

TL 企画：藤崎和彦（MEDC）、比留間ゆき乃（兵庫医大）、山口育子（NPO法人ささえあい医療人権センターCOMU）

WS-2 海外臨床実習に向けた準備教育

CD 企画：押味貴之（日本大）、高橋優三（兵庫医大）、James Thomas（慶應大）

WS-3 CBRマトリックスで地域資源や患者生活の包括的診断をしてみよう

TL 企画：高橋敬子（兵庫医大）、岩隈美穂（京都大）、尻無浜博幸（松本大）

WS-4 TBLを体験しよう

CD 企画：成瀬 均・今西宏安・田中 進・橋本ゆかり（兵庫医大）

WS-5 学生のリサーチマインドを涵養しよう

CD 企画：鈴木敬一郎・森本 剛（兵庫医大）、藤本真一（奈良県立医大）

WS-6 医療安全に配慮した多職種連携でのファシリテーター育成シナリオの作成

TL 企画：高橋敬子（兵庫医大）、利木佑起子（佛教大）、山口 円・平山亜矢子（兵庫医大）

WS-7 学部生活の振り返りによるキャリア意識醸成の手法

ML 企画：柴田綾子（淀川キリスト教病院）、藤井達也（山王病院）、荘子万能（大阪医大）、照屋周造（東大病院）

ご清聴ありがとうございました

第63回
岐阜

2017/1/27-29

第64回
昭和

2017/4/22-23

第18回
教務事務職員研修

2017/5/10-12

第65回
岐阜

2017/7/21-23

第66回
岡山大

2017/10/14-15

アソシエイト認定・フェローシップ参加者随時募集中！